萩　デ　第　３９２号
令和８年１１月２７日

総務大臣　　藤井　比早之　　殿

萩市長
田中　文夫

事後評価報告書（再評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．事業概要
(1) 工事完了日　　：令和４年３月２５日
(2) サービス開始日：令和４年８月１７日

２．目標達成状況（累計）

指　標	目標（目標年度）	（実績値/目標値）				
		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
Wi-Fi の設置数	６０８世帯（令和４年度）	387/608	【参考】399/608	【参考】411/608	【参考】424/608	【参考】430/608（９月末）

（参考）

提供可能回線数	利用回線数				
	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
１，４８９回線※	387回線	399回線	411回線	424回線	430回線（９月末）

※補助対象、次年度整備、自主整備の３つの対象エリアのうち、補助対象エリアの世帯数に対応できるよう回線を整備

３．中間評価を踏まえて実施した取組

中間評価において課題として挙げた高齢者層に対するインターネットの利便性・必要性の理解促進を図るため、対象地区へ出張して年２回「萩市スマホよろず相談所」を開催した。相談所では個別の操作不安や疑問の解消を行うとともに、自宅で Wi-Fi を介して動画を視聴する際の快適さなど、Wi-Fi の利用価値や利便性を紹介し、Wi-Fi の利用および設置推進に努めた。あわせて、地元に密着して活動する地域おこし協力隊員にも協力してもらい、日頃の住民対応や相談の機会等を通じて Wi-Fi の利用案内や周知に努めた。

４．評価

【Wi-Fi の設置数について】

対象地区への出張による「萩市スマホよろず相談所」の開催（年２回）等を通じて、自宅での Wi-Fi 利用の価値や利便性への理解促進に努めてきた。これにより設置世帯数は前年度から増加しているものの、当初目標の達成には至らなかった。

しかしながら、相談の場等を通じて高齢者をはじめとする住民のインターネットに対する心理的ハードルは着実に低下してきている。今後も引き続き、対象地区において教室や相談の機会を継続的に設けて利用への不安を解消するとともに、地域の実情に即した普及啓発と丁寧な利用支援を推進し、Wi-Fi の設置数増加および目標達成に向けた巻き返しに努めていく。

【利用回線数について】

利用回線数についても、整備地域は高齢者が多く利便性の理解に時間を要していることから、当初想定した利用水準には達していない。しかし、出張による「萩市スマホよろず相談所」等のきめ細やかなサポート活動等により、利用回線数は前年度を上回る推移を見せている。今後も地域の実情に即した普及啓発と丁寧な利用支援を継続し、更なる利用拡大と回線普及に努めていく。